

新春特集

2020 START

令和の時代となり、初めて迎える新年となりました。本年が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

市政運営においては、施策・事業に着実に取り組み、本市がさらに発展していけるよう、市民の皆様と一緒に汗をかき、全力で取り組んでまいります。

2019年を振り返って

昨年は、10月に日本列島を直撃した台風第19号により、全国各地で過去に例を見ない風水害に見舞われました。市内でも、観測史上最多の降雨量を記録し、田川・姿川流域を中心に浸水被害が発生しました。改めて被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

一方、明るい話題としては、11月に3人制バスケットボールクラブの世界一を決定する「3x3 ワールドツアーファイナル」が本市で開催され、世界から注目を浴びました。

また、スポーツクライミングでは、本市出身の檜崎兄弟が国内外の大会で活躍され、兄の檜崎智亜選手は8月の世界選手権で優勝し、国内初の東京五輪日本代表に内定するなど、本市にゆかりのある人たちの活躍が目立ちました。

まちづくりにおいては、JR宇都宮駅東口地区について、昨年1月に事業者と契約を締結し、2022年度のまちびらきに向け、コンベンション施設をはじめとする施設の設計に着手し、10月には一部工事が開始するなど、着実に事業を推進しています。

2020年はこんなことに取り組みます/ 「まちづくり好循環プロジェクト」

Project 1

NCCが支える 共生社会創出プロジェクト※1

■子育て支援の充実

年度当初の待機児童の4年連続ゼロの達成に向けて、引き続き、ニーズに対応した保育施設などの整備を進めるとともに、子どもの家などがこれまで以上に安心して利用しやすくなるよう、運営体制の充実に取り組みます。

■公共交通ネットワークの整備

公共交通ネットワークの要となるLRTについて、JR宇都宮駅東側の開業に向けて、車両の製造や停留場の名称決定などを進めていきます。

また、鉄道や路線バスなどで使用できる「地域連携ICカード」の全国初の導入に向けた準備に取り組みます。

Project 2

ICTで暮らしもまちも 元気プロジェクト

■あらゆる分野でICTを積極的に活用促進

データを活用した効果的な健康づくりの推進や、センサーやドローンなどを活用したより迅速な災害対応、ICT機器などを活用した中小企業の生産性向上や農業者の負担軽減を図るなど、あらゆる分野でICTを活用した活力あるまちの形成に取り組みます。

■スマートシティの推進

産官学の連携により、小型モビリティや自動運転などを活用した、誰もがストレスなく移動できる仕組みの構築に向けた実証実験を行うなど、他都市に先行して先進技術を活用した新たなまちづくりを進めます。

Project 3

ブランド発掘・創造・発信 プロジェクト

■宇都宮の魅力を世界に発信

「ジャパンカップサイクルロードレース」が世界最高峰の「ワールドツアー」に次ぐ「UCIプロシリーズ」に日本で唯一認定されます。また、今年は「3x3ワールドツアーマスタース」の開催と併せ、東京オリンピック出場国の事前トレーニングキャンプや身近な場所で競技を体感できる機会の提供などに取り組みます。

■総合的な治水・雨水対策の推進

昨年の台風第19号をはじめとする水害の検証を踏まえ、河川や雨水幹線の着実な整備や防災ルート、防災ラジオの普及促進など、ハード・ソフト両面からの総合的な治水・雨水対策にスピード感を持って取り組みます。

「協働のまちづくり」

キーワードは「SDGs」と「スマートシティ」

まだまだ耳慣れない言葉の「SDGs」と「スマートシティ」。しかし、宇都宮の「協働のまちづくり」を語る上で、2020年、欠かせないキーワードとなりそうです。

「SDGs」については、「SDGs人づくりプラットフォーム」の構築を進め、もったいない運動市民会議を中心に多様な主体が参画し、イベントや勉強会などを開催していきます。

「スマートシティ※2」については、官民連携組織「Uスマート推進協議会」に、昨年11月に新たに16企業が参画し、全24団体に、ICTやデータを活用したまちづくりを加速化しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsについて次のページで詳しく紹介するよ

LR Tの整備については、JR宇都宮駅東側の工事が着実に進むとともに、同駅西側のLR T延伸に向けた検討が進んでいます。

観光分野では、アフターDC※3の一環として、周遊・宿泊促進に取り組み、期間中の観光客入込客数はDC前の2016年を約20万人上回る356万人となりました。

その他、7月には県内初のSDGs未来都市に選定されるなど「未来都市うつのみや」の具体化が着実に進み、その名が国内外に大きく取り上げられた年でした。

そして2020年へ

世の中の移り変わる速度はさらに加速化しています。そのような中にも輝き続けられるまちとなるために、分野や主体の垣根を越えてまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、「まちづくり好循環プロジェクト」の推進に部局の垣根を越えて取り組みます。また、市民や団体、事業者などがそれぞれの強みを生かした「協働によるまちづくり」により一層取り組み、日本をリードする「未来都市うつのみや」の実現を目指していきます（上の記事参照）。

3 ※1 NCC ネットワーク型コンパクトシティの略。宇都宮の目指すまちの姿。
 ※2 スマートシティについては、広報うつのみや3月号「広報うつのみやプラス」で特集します。
 ※3 DC デスティネーションキャンペーンの略。

イチから分かる

宇都宮から世界へ向けて



サステナブル ディベロップメント ゴールズ
Sustainable Development Goals

今話題の SDGs って何？

「持続可能な開発目標」

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

＼ヒトコトで言うと／

A.地球全体で取り組む17の目標です。

「持続可能」とは、「しつづけることができる」ということ。例えば、今のみんなの暮らしと同じように、未来の人たちもこの地球で暮らし続けることができるということだよ。

「持続可能」って？

うん。地球には課題が山積み。先進国も開発途上国も、大人も子どもも、みんなが一緒に考えて、取り組んでいかないと解決しないよね。SDGsは、世界の国々の代表者や有識者たちが知恵を寄せ合ってきた「持続可能な開発目標」なんだよ。

あと10年だね。2030年かあ。ちょうど連サミットで定められたんだ。

ハッピー 2030年までに解決を目指す17個の世界共通の目標のことだよ。2015年9月の国連サミットで定められたんだ。

ミヤリー エス・ディ・ジェスエ SDGsってどういう言葉を聞くことが増えたけど、どういうものなの？



宇都宮はSDGsもスゴイ

815市区中 **3** 位のまち

SDGs未来都市に選定

平成30年には、日本経済新聞社による全国815市区を対象にした「SDGs先進度調査」で、全国総合第3位の評価を獲得。もったいない運動やLRTの推進など、本市のこれまでの取り組みが高く評価されました。

昨年7月、持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として、県内で初めて「SDGs未来都市」に選定されました。今後も宇都宮の特性を踏まえたSDGsを推進していきます。

全国市区の「SDGs先進度」総合ランキング

総合順位	自治体名(都道府県名)	総合得点(100点)
1位	京都市 (京都府)	70.37
2位	北九州市 (福岡県)	70.13
3位	宇都宮市 (栃木県)	68.82
4位	豊田市 (愛知県)	68.57
5位	岡山市 (岡山県)	68.53



選定証を受けた佐藤市長(左から2人目)

今日から実践！ 今すぐできるSDGs

level 1 ソファに寝たままできること

主な目標/

3 持続可能な消費と生産
ウオーキングや好きなスポーツなど、週末に体を動かす計画を立てよう。適度に運動することで、心や体の健康につながります。

7 エネルギーの持続可能な開発
電気を節約しよう。使っていない電気機器は完全に電源を切ったり、気温の変化に応じて着るものを調節することで、電気の無駄遣いを防げます。

13 気候変動に脅かされる持続可能な開発
気候変動に伴う災害発生に備えよう。近隣の避難場所などを確認しておくことで、災害が発生した際、適切な行動につながります。

level 3 家の外でできること

主な目標/

8 持続可能な雇用と経済成長
買い物は地元でしょう。地域でできたものを、地域で使うことで、地域の企業を支援することにつながり、雇用(働く場所)が守られることにつながります。

10 人や国の不平等の解消
みんなの意見を平等に聞きながら話し合いをしよう。年齢や障がいの有無、出身国の違いによらず、互いに認め合うことで、充実した話し合いにつながります。

12 持続可能な消費と生産
マイバッグやマイ箸の他、詰め替え可能なボトルやコーヒーカップを使おう。再利用できるものを積極的に使うことで、資源の節約につながります。

level 2 家にいてもできること

主な目標/

12 持続可能な消費と生産
食べきれないものはおいしく新鮮うちに、冷凍しよう。食べ物もお金も無駄になりません。

12 持続可能な消費と生産
資源とごみの分別をしっかりとしよう。紙やペットボトル、缶などリサイクルすれば、焼却ごみの量を減らすことができます。

14 海の豊かさを守ろう
使い終わった食用油はそのまま排水口に流さず、スーパーなどの回収ボックスに出そう。川や海を汚すことを防げます。

level 4 職場でできること

主な目標/

5 ジェンダー平等の達成
性別で仕事を決めつけるのはやめよう。性別に関係なく、みんなで協力しあえる環境をつくることで、みんなが働きやすくなります。

7 エネルギーの持続可能な開発
通勤は自転車、徒歩または鉄道やバスなどの公共交通機関を利用しよう。健康増進やエネルギーの節約につながります。

13 気候変動に脅かされる持続可能な開発
「クールビズ」や「ウォームビズ」を徹底しよう。気候に合わせて服装の工夫などを行い、冷暖房を適切に使えば、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。

そっか。今ある資源を使い
きっちゃって、未来に何も
残さない開発なんてずるいもんね。
うん。ところで、世界を35
人のクラスに例えると、ト
イレが使えない人はどれくらい
いると思う？
え……2人くらいかな？
何と20人！世界の人口
73億人のうち42億人が安全
なトイレを使えないんだ。その
うち6億7300万人は屋外で用を
足しているんだよ。
SDGsで大切なことは「誰一
人取り残さない」ということ。み
んなが幸せに過ごすために、それ
ぞれできることがあるよね。
そっなんだ。具体的には何
ができるんだろう。
普段から気を付けているこ
とだって、実はSDGsに
関係しているんだ。「エアコンを
使すぎない」「車を使わず歩く」
それぞれのSDGsに取り組み
ことが大切だよ(上の記事参照)。
小さい行動だって、集ま
たら大きな力だもんね。宇
都宮から世界に向けて、自分たち
にできることをしたらいいんだね。



新春 対談

未来都市うつのみや それぞれの2020年へ

平成から令和へ新たな時代となり、ひとつの節目を迎えた2019年。さまざまな分野で宇都宮の魅力が県内外に発信された1年となりました。今回は、大いに活躍した星が丘中学校合唱部と宇都宮ブレックスをお迎えし、市長とともに昨年を振り返り、今年の抱負を伺いました。

—皆さん、昨年は大活躍の1年でしたね。

北崎 星が丘中学校は、全日本合唱コンクール全国大会で、フランス語の曲「愛の塔」を歌い、最高賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。

川俣 各地方の厳しい予選を勝ち抜いてきたので、技術はどの団体も卓越しています。その上で大切なのは、いかに曲の本質に迫れるかだったと思います。フランス語の正確な発音はもちろん、産業や文化を調べたり、曲の情景を絵で表現したりと、「香りが漂ってくるような演奏」を目標に、いろいろな角度から練習に励みました。
北崎 特に発音は、複雑な母音や子音があるので、練習に苦労しました。

結果が発表された瞬間は信じられなくて、驚きました。昨年、一昨年と関東大会で涙をのんだ先輩



川俣 貴明さん
星が丘中学校合唱部顧問

たちの気持ちも背負って挑んだ大会だったので、日本一をとることができて、最高の恩返しになったと思います。

市長 11月には、市議会議場で歌声を披露していただきました。まさに日本一の素晴らしい歌声に、議場の雰囲気がとても明るくなりました。

本当に宇都宮市の誉れです。心から敬意を表したいと思います。

—さて、宇都宮ブレックスは、いきいき健康教室やあいさつ運動など地域に密着した活動を積極的に行っていきますよね。

鎌田 はい。幅広い世代の皆さんと一緒に地域を盛り上げたいと思っています。特に「いきいき健康教室」では、地域の皆さんと、選手やチャリダーなどが接する機会を作り、簡単な軽運動ができるバスケットボール教室などを実施しています。



佐藤 栄一市長



宇都宮市議会議場でのコンサート



小学校でのあいさつ運動



いきいき健康教室

市長 健康寿命の延伸はこれからの社会に大事なことです。また、ブルックスの試合観戦などを目当てに県外からの来訪者も多く、地域の活性化にもつながっていますし、ブルックスは本市にとっても大きい存在です。

—北崎さんは、ブルックスの試合を会場で観戦したことはありませんか？

北崎 はい。ブルックスアリーナ宇都宮は、選手とお客さんとの距離がとても近くて、楽しかったです。

鎌田 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいただく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していただきたいと思います。試合観戦だけで

はなく、飲食なども楽しんで、明日からの活力にしてもらえよう、引き続き頑張っていきたいと思えます。

市長 昨年には「宇都宮ブルックス」へのチーム名称変更もあり、市としても、今まで以上に応援をしていきたいと思えます。地元の方にも、自分の街のチームだという気持ちで応援を続けてもらいたいですね。

—ブルックスの観戦などで本市を訪れた人たちが市民の皆さんにとっても、公共交通機関がますます大切になりますね。

市長 そうですね。公共交通で移動できることは、おもてなしに欠かせません。また、車を運転できない人でも自由に移動できる街をつくるための「ネットワーク型コンパクトシティ」、中でも令和4年の開業に向けてLRTの整備を進めています。また、令和3年



鎌田 眞吾さん
株式会社栃木ブルックス
代表取締役社長



北崎 純奈さん
星が丘中学校3年 合唱部部長

春には、宇都宮独自のサービスを付加した新たな交通ICカードを市内のバスに導入します。これにより、Suicaなどの既存のICカードでも乗れるようになり、利便性が向上します。

そして新たに、市内のバスに上限賃金制度を設け、誰もが自力で移動できる外出しやすい宇都宮を目指していきます。

—最後に、皆さんの今年の抱負を教えてください。

川俣 星が丘中学校合唱部は、3年生が引退し、新メンバーで活動をスタートしています。大変なことも多いですが、これから部員がどう成長していくかが楽しみでもあります。今年も謙虚な気持ちで、努力したいと思えます。

北崎 今年は高校生になるので、合唱の経験を生かして、新しいことにチャレンジする1年にしたいと思えます。



▲対談の様子は、宇都宮ケーブルテレビで1月5日まで放送中。その後、市ホームページ「宇都宮愉快動画館」でも公開を予定しています。ぜひご視聴ください。



1022195

▲宇都宮愉快動画館

鎌田 Bリーグも佳境に入ってきてますので、良い結果をご報告できるような頑張っていきたいです。3x3も強くて魅力あるチームを作っていきたいと思えます。

市長 宇都宮市は、今生きる皆さんのため、そして次の世代を背負っていく子どもたち、これから生まれてくる子どもたちのためのまちづくりを進めています。そのためには、市民の皆さんの協力も必要です。これからもご支援を賜りますようお願いいたします。本年もどうぞよろしく願っています。

一同 ありがとうございます。